

選ぶ・歩む・拓く

○ 願書の清書・印押しへ

下書きチェックを終えた願書が再配布されました。慣れないことのためか、下書きの段階ではどこかに不備があった人が大勢いました。清書はさらに気をつけて丁寧に取り組みましょう。

注意事項は、願書配布の際に封筒に入れた紙に書いてあります。しっかりと確認をして進めましょう。



○ 問題集のご案内

この進路便りと一緒に問題集の案内として2種類の封筒を配りました。詳細は封筒の案内を見てください。希望者は必要事項を記入の上、代金をそえて18日(木)か19日(金)の朝に担任の先生に提出してください。サンプルは個人懇談中に見られるようにしておきましたが、もう一度見たい人は担当の村瀬まで申し出てください。

○ 体験入学がほぼ終了

12月で各学校の体験入学や説明会はほぼ終了します。多くの生徒が参加し、得たものも多かったようです。実際に行ってみたことが、進路決定の決め手になった生徒もたくさんいました。もし、受験予定の私立高校・専修学校や、希望の公立高校に一度も行っていない生徒は、見学会が設定されていない日でも、現地まで行ってみましょう。通学にかかる時間や、施設の様子など、実際に行くことによってわかることはたくさんあります。

○ お家の方へ

個人懇談では、私立高校・専修学校を中心に話し合い、受験校を決定しました。生徒一人ひとりが自分の意思を確認したと思います。ご協力ありがとうございました。

図書室で願書を受け取る際の生徒たちの様子から、真剣さが伝わってきました。また、願書等の下書きでは提出遅れはほとんどないと聞いています。大切なことを、きちんと自分のことととらえて取り組む様子に頼もしさを感じます。

この先も、いろいろな手続きを、丁寧に、期限を守って進めることができるよう、ご協力をよろしくお願いします。

● シリーズ「私の進路選択」⑤

第7弾は、so cute で内面も美しい、みんなのアイドル・・・眞木美香先生です。

私がピアノを習い始めたきっかけは、幼なじみの友達がピアノを習っていたからでした。彼女が素敵にピアノを弾く姿にあこがれて、私もどうしても習いたくて、父母に頼んでピアノを習わせてもらいました。最初の何年かは順調でしたが、だんだん曲が難しくなり、途中、何度か壁にぶつかる時がありました。しかし、不思議にやめたいとは思いませんでした。そして、いつしか、続けてきたピアノを生かした職業、音楽に携わった職業に就きたいと思うようになりました。

高校受験の時には、普通科ではなく、音楽科を選ぼうかと迷いましたが、大学に進むときにもう一度考えようと普通科の高校を選択しました。私は、学校群制度での受検だったので、合格しても自分の希望する高校に行けるかどうかはわかりませんでした。残念ながら、合格した学校は、第1希望の学校ではありませんでしたが、自転車で5分ぐらいのところであり、通うのにはとても便利でした。また、学校やクラスが団結して行事に取り組み、自分は部活動にも励むことができ、とても楽しい学校生活を送りました。そして、今でも、心の支えになっている友達を見つけたのも高校時代でした。

人生、自分の思うとおりに行かないことはたくさんありますが、その状況に身をおいてどれだけ自分を高められるか、最善を尽くせるかが、とても大切なことだと思います。今も正直、楽しいことばかりではなく、毎日いろいろなことがあります。とても充実した日々を過ごしています。そして、みなさんの笑顔を見ると、この職業を選んで良かったなと思います。今、こうして私自身がいられることは、周りの人たち、友達、家族が支えてくれているから・・・日々感謝しています。

